



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

入学式・式辞

しっとりと降り注ぐ桜雨が、川辺の桜をいっそう鮮やかに染め上げ、新入生の皆さんの門出を優しく潤しているかのようです。今日の佳き日に、PTA会長 泉 博之様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、また保護者の皆様のご列席を賜り、令和八年度金沢市立浅野川中学校入学式を挙げてまいりますことを、教職員一同、心より感謝し、厚くお礼申し上げます。



二百六十六名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日から皆さんは、この歴史ある浅野川中学校の一員です。皆さんが背負っている新しい鞆の中には、教科書だけでなく、これからはじまる生活への期待と、少しの不安も詰まっていることでしょう。

そこで、中学校生活をスタートさせるにあたり、本校が大切にしている三つの言葉、校訓を皆さんに贈ります。ステージ横右上をご覧ください。それは「敬愛」「剛健」「優雅」です。これからの三年間、皆さんが迷った時の道しるべとなる言葉です。

一つ目、「敬愛」。これは、自分を大切にするとともに、他者を敬い、慈しむ心のことです。中学校では、異なる小学校から来た新しい仲間、先輩、そして多くの先生方との出会いがあります。自分とは違う考えや個性を持つ人たちを否定するのではなく、「そんな考え方もあるのか」と認め合い、尊重してください。互いを敬う心があれば、この学び舎は誰もが安心して過ごせる温かな場所になります。

二つ目、「剛健」。これは、心身ともに強く、健やかであることです。中学生の時期は、体も心も大きく成長します。勉強や部活動、行事など、時には壁にぶつかり、苦しいこともあるかもしれませんが、そんな時こそ、粘り強く挑戦し続ける「たくましさ」を養ってください。失敗を恐れず、自分を鍛え上げる経験が、将来の皆さんを支える揺るぎない土台となります。

三つ目、「優雅」。中学生に「優雅」という言葉は意外に思うかもしれませんが、しかし、ここでの優雅とは、単に見た目の美しさではなく「心のゆとり」と「品位」を指します。忙しい毎日の中でも、道端に咲く花に目を向けたり、美しい言葉遣いを心がけたり、相手の立場に立って一呼吸置く優しさを持つことです。感情に流されず、落ち着いて行動できる。そんな「心の豊かさ」を持つ人になってほしいと願っています。

「敬愛」の心で仲間とつながり、「剛健」な心身を鍛え、「優雅」な立ち居振る舞いを忘れない。この三つを意識することで、皆さんの三年間は、驚くほど輝きに満ちたものになるはずです。私たち教職員は、皆さんの成長を全力でサポートすることを約束します。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。大切なお子様をお預かりし、教職員一同、誠心誠意、教育活動に邁進してまいります所存です。

新入生の皆さんの学校生活が、希望に満ちたものになることを祈念し、式辞といたします。



令和8年4月7日

金沢市立浅野川中学校長

増江 雅人